

核物理研究センター運営委員会(核運委) 議事録(案)

日 時 平成 12 年 9 月 26 日(火)午前 10 時 30 分～午後 6 時 30 分

場 所 核物理研究センター会議室

出席者 矢崎、村木、酒井、久野、今井、堀内、森信、初田、長島、大坪、岸本、
永井、土岐、佐藤、畑中、中野、板橋、藤原

陪席者 阪口(研計委幹事)

欠席者 井上、永宮

議 事

I. 報告事項

1. 一般報告

(1) 人事異動について

- ①平成 12 年 9 月 1 日付けで特別講師(COE 研究員)に杉田歩氏を採用した。
- ②平成 12 年 9 月 18 日付けで事務補佐員に西本美奈子氏(研究室秘書)を採用した。

(2) 職員の兼業・兼職について

- ①松岡伸行助手の神戸大学非常勤講師(担当科目:物理学実験)への就任を承認した。
- ②土岐博教授の理化学研究所加速器研究施設実験課題採択委員会委員への就任を承認した。
- ③藤原守助教授の理化学研究所加速器研究施設実験課題採択委員会委員への就任を承認した。
- ④永井泰樹教授の放射線医学総合研究所重粒子線がん治療装置等共同利用運営委員会委員への就任を承認した。
- ⑤永井泰樹教授の放射線医学総合研究所重粒子線がん治療装置等共同利用運営委員会課題採択・評価部会委員への就任を承認した。

2. RCNP 活動報告

(1) 一般報告

①研究活動について

- ・リングサイクロトロン関係
共同利用実験:順調に遂行。
300MeV 中性子ビームコース開発:平成 12 年度後期より実験。

- ・ レーザー電子光関係
CH₂, C, Cu標的のテスト実験を直線及び円偏光した 1.9GeV及び 2.4GeV
レーザー電子光利用し遂行。
- ・ 大塔コスモ関係

³He (³He, 2P) ⁴He実験装置完成し実験。

②平成 13 年度概算要求の概要について

- 1) 流動部門解消 (山形大学、京都大学)
- 2) 施設運営費の増額 (1200 万円)
- 3) レーザー電子光測定器部門新設
- 4) 核物理研究センター (設備費) (9800 万円)
- 5) 特別設備費→AVF の高輝度化

③国際会議・国際シンポジウム

- ・ GR2000 : 6 月 12 日～16 日 (於: 阪大)
- ・ SPIN2000: 10 月 16 日～21 日 (於: 阪大)

④ワークショップ

- ・ New Generation Nuclear Particle Detectors and New Nuclear Particle Physics:
7 月 3 日
- ・ LEPS2000 : 10 月 14 日～15 日 (International Workshop)

⑤研究計画専門委員会 (P-PAC) : 7 月 17 日開催

⑥RCNP 内各種委員会について

- ・ RCNP 情報ネットワーク委員会: 7 月 10 日開催
新汎用計算機システムの運用等
- ・ RCNP 安全委員会: 7 月 26 日開催
内規の一部改正安全管理マニュアル (冊子) の作成

⑦会計検査: 6 月 20 日～21 日

⑧阪大における法人化の議論と RCNP について

- ・ 予算の傾斜配分: 今年度は従来通り。平成 13 年度傾斜配分実施
→ 財務専門部会及び評価専門部会設置
- ・ (阪大) 全国所長会議メンバー懇談会 : 研究所、研究センターの意見集約

大学附置共同利用研の意義

⑨施設見学等について

- ・ 7月28日阪大原子力工学学科学生
- ・ 8月2日京都嵯峨野高校生
- ・ 8月25日大阪天王寺高校生
- ・ 11月3日「原子核がひらく極限の世界2000」佐藤健次、高塚龍之(岩手大)

3. 研究計画検討専門委員会報告

LEPS 共同利用のあり方についての提案と将来計画についての報告があった。

II. 議事録承認

平成12年5月29日(月)開催の議事録(案)について、これを承認した。

III. 協議事項

1. 教官人事について

永井センター長から、助手人事についての調査委員会からの選考経過を説明し、助手任用候補者として堀田智明氏(日本原子力研究所先端基礎研究センター博士研究員)を推薦したい旨報告があり、協議の結果、投票により同人を助手任用に決定した。

引き続き、永井センター長から、助教授人事についての調査委員会からの選考経過を説明し、助教授任用候補者として保坂淳氏(沼津工業高等専門学校教授)を推薦したい旨報告があり、協議の結果、投票により同人を助教授任用に決定した。

2. LEPS 共同利用に向けての提案について

中野貴教授から、LEPS 共同利用に向けての提案について配布資料に基づき説明があり、種々意見交換が行われた結果、核運委の議論を踏まえて研計委で慎重に議論願うことので了承した。

3. 研究計画について

永井センター長から、RCNP の研究計画について説明があり、将来計画は時期を見て検討することになった。

4. センター運営委員会規程及びセンター長選考規程について

永井センター長から、継続審議になっているセンター運営委員会規程及びセンター長選考規程について説明があり、問題点を整理したうえで議論した結果、旧規程を踏襲する方向で原案を作成し、事務局と折衝することにした。

5. その他

- ・センター長選考について

永井センター長から、センター長選考を今後どのように進めていくかについて説明があり、次回の核運委で議論することになった。